

ILSI Japan  
The 5th International Conference on Nutrition and Aging

第5回「栄養とエイジング」国際会議  
ヘルシーエイジングを目指して～  
ライフステージ別栄養の諸問題



2007年10月31日（水）、11月1日（木）（2日間）  
国際連合大学 ウ・タント国際会議場（東京・青山）

主催 International Life Sciences Institute (ILSI)  
特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan)

## 第5回「栄養とエイジング」国際会議 ヘルシーエイジングを目指して～ ライフステージ別栄養の諸問題

2007年10月31日(水)、11月1日(木)(2日間)  
国際連合大学 ウ・タント国際会議場

### ILSIとは

#### International Life Sciences Institute (ILSI)について

International Life Sciences Institute (ILSI) は、1987年にアメリカで設立された非営利の団体です。ILSIは、健康・栄養・安全・環境に関わる問題の解決および正しい理解を目指すと共に、今後発生する恐れのある問題を事前に予測して対応していくなど、活発な活動を行っています。現在、世界中の400社以上の企業が会員となって、その活動を支えています。また、非政府機関(NGO)の一つとして、世界保健機構(WHO)とも密接な関係にあり、国連食糧農業機関(FAO)に対しては特別アドバイザーの立場にあります。アメリカ、ヨーロッパをはじめ各国で、国際協調を目指した政策を決定する際には、科学的データの提供者としても国際的に高い信頼を得ています。特定非営利活動法人国際生命科学研究機構(ILSI Japan)は、ILSIの日本支部として1981年に設立されました。ILSIの一員として世界的な活動の一翼を担うとともに、日本独自の問題にも積極的に取り組んでいます。

### シンポジウムの趣旨

わが国では出生率が死亡率を下回り、超高齢化が加速度的に進んでいます。厚生行政においても老化予防の観点で強調され、介護保険制度改革も予防に重点を置く内容になりました。より若いうちから生活習慣病を予防しなければ、健康な高齢期を迎えることができないことは、一般にも既に周知されています。しかし、人生の各段階それぞれに栄養のあり方が異なるとの意識をもつ栄養・医療関係者は未だに多くはなく、画一的な“肥満予防”の栄養指導をすべての年代に当てはめようとする傾向があります。“エイジング”は、誕生の瞬間から、あるいは胎児期から始まっていると考え、健康的に年齢を重ねていくためには、妊娠中の母体栄養から高齢期に至る、それぞれの年代にふさわしい栄養のあり方について広く知見を集め、議論を深めていく必要があります。

ILSI Japanでは、1991年に第1回「栄養とエイジング」国際会議を主催し、以降4年に一度、既に4回に亘り同国際会議を開催して、国際的評価を得ています。第5回は、健康的な高齢期を迎えるという視点から、ライフステージ別の健康と栄養の諸問題をめぐる最近の研究と課題について、内外の研究者が報告すると共に、今後の方向について討議します。

ここで得られる知見をもとに、食品・医薬品および関連業界に、高齢化社会を見据えた食品やフードサービスの開発に際してのヒントを与えます。

### 会議の構成

疫学や栄養代謝の視点から、各ライフステージ別の栄養・健康の諸問題の最近の研究成果について、講演、討論ならびにポスターセッションが行われます。

### セッション1 各ライフステージ特有の栄養と生活習慣病リスク

メタボリックシンドローム、肥満、歯周病、ストレス、身体活動、摂食パターン、睡眠、ニュートリゲノミクス、および機能性食品等について討議します。

### セッション2 胎児期栄養と生活習慣病リスク

胎内環境としての母体栄養などについて国内外の最新情報をもとに議論します。

### セッション3

高齢者のQOL維持を目的とした運動、栄養の役割や機能性食品、行動変容等について議論します。

### 組織委員会

委員長	木村 修一	国際生命科学研究機構理事、昭和女子大学大学院特任教授
委員	岩元 睦夫	(社)農林水産先端技術産業振興センター理事長
	上野川修一	日本大学生物資源科学部教授
	小林 修平	人間総合科学大学人間科学部教授
	桑田 有	明治乳業株式会社常務取締役研究本部長
	坂本 元子	和洋女子大学副学長
	中村 丁次	(社)日本栄養士会会長、神奈川県立保健福祉大学教授
	時光 一郎	花王株式会社ヘルスケア第一研究所長
	山野井昭雄	味の素株式会社顧問
	渡邊 昌	独立行政法人 国立健康・栄養研究所理事長
	Suzanne Harris	Executive Director, ILSI

### 共催

ILSI北米支部 (ILSI North America)  
ILSIヨーロッパ支部 (ILSI Europe)  
ILSI中国連絡事務所 (ILSI Focal Point in China)  
ILSI東南アジア支部 (ILSI SEA)  
国際アミノ酸科学協会

### 後援予定(申請中)

厚生労働省  
農林水産省  
東京都  
日本基礎老化学会  
日本臨床栄養学会  
日本栄養・食糧学会  
(社)日本栄養士会  
日本応用老年学会



## プログラム

### ★10月31日(1日目)

- 8:30～ 受付・登録  
9:30～9:40 開会の挨拶  
木村修一 (ILSI Japan 理事長、昭和女子大学大学院 特任教授)

#### セッションI ライフステージ特有の栄養と生活習慣病リスク

座長 木村修一

- 9:40～10:20 基調講演 「成人期の肥満と生活習慣病リスク」  
渡邊 昌 (独立行政法人 国立健康・栄養研究所理事長)
- 10:20～11:00 「メタボリックシンドロームの分子機構と治療戦略」  
門脇 孝 (東京大学大学院医学系研究科教授)
- 11:00～11:40 「テラーメイド栄養学」  
坂根直樹 (国立病院機構京都医療センター臨床研究センター室長)
- 11:40～12:20 「動脈硬化性疾患の一次予防-メタボリックシンドロームを含めて-」  
中村治雄 (三越厚生事業団 常務理事、防衛医科大学名誉教授)
- 12:20～12:30 質疑応答  
12:30～14:00 昼食&ポスターセッション  
座長 渡邊 昌
- 14:00～14:40 「小児のメタボリックシンドロームとその診断基準」  
大関武彦 (浜松医科大学 小児科学講座教授)
- 14:40～15:20 「歯と身体の健康との関係」  
デニス・キニン(米国・ルイビル歯科大学教授)
- 15:20～15:30 質疑応答  
15:30～15:50 休憩  
15:50～16:30 「ペプチドによる神経性の摂食調節機構」  
中里雅光 (宮崎大学医学部教授)
- 16:30～17:10 「機能性食品とエネルギーの消費」  
マルガリート・ウェスターターブ(オランダ・マーストリヒト大学教授)
- 17:10～17:20 質疑応答  
18:00～ レセプション

### ★11月1日(2日目)

- 8:30～ 受付・登録

#### セッションII 胎児期栄養と生活習慣病リスク

座長 木村修一

- 9:00～9:40 基調講演  
「小児期における生活習慣病予防」 坂本元子(和洋女子大学副学長)  
座長 坂本元子
- 9:40～10:20 「妊娠期の低栄養の現状」  
瀧本秀美 (国立保健医療科学院生涯保健部母子保健室室長)
- 10:20～10:25 質疑応答  
10:25～10:40 休憩  
10:40～11:20 「胎生期の栄養環境と成長後における肥満発症」  
伊東宏晃 (独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター医員)
- 11:20～12:00 「胎児期を含めた、生活習慣病に関する栄養プログラミング」  
キャロライン・マクミレン(オーストラリア・アデレード大学教授)
- 12:00～12:10 質疑応答  
12:10～13:30 昼食&ポスターセッション

#### セッションIII 高齢者のQOL維持を目的とした栄養の役割

座長 小林修平 (人間総合科学大学教授)

- 13:30～14:10 「高齢者の食事と生活習慣病」  
佐々木敏 (独立行政法人 国立健康・栄養研究所)
- 14:10～14:50 「COPD(慢性閉塞性肺疾患)の運動療法と栄養療法」  
塩谷隆信 (秋田大学医学部教授)
- 14:50～15:00 質疑応答  
15:00～15:20 休憩  
15:20～16:00 「高齢者の免疫能を強化するための栄養学的戦略」  
ステファニー・ブラム(ネスレリサーチセンター栄養・健康研究部免疫研究室室長)
- 16:00～16:40 「自立高齢者の老化遅延のための食生活」  
熊谷修 (人間総合科学大学人間科学部教授)
- 16:40～16:50 閉会の挨拶  
ジョン・ラフ (ILSI会長)

2007年11月2日(金) サテライトシンポジウムが同会場にて開催されます

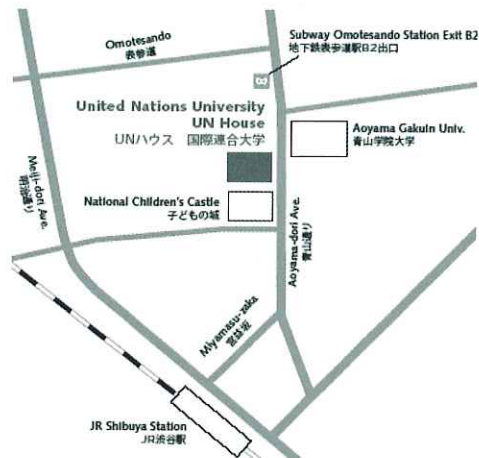
## 一般ご連絡事項

### 会場

国際会議は国際連合大学、ウ・タント国際会議場にて開催されます。下記案内図をご参照下さい。

ウ・タント国際会議場

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70



### アクセス

JR渋谷駅から徒歩8分もしくは地下鉄表参道駅出口B2（銀座線、半蔵門線、千代田線乗り入れ）から徒歩5分のところにあります。青山通りをはさんだ向かいには青山学院大学、建物に向かって左側には「こどもの城」があります。

### 受付

開催第1日目の10月31日（水）午前8時30分より、会場において受付を開始致します。登録証を当日受付にてご提示下さい。講演要旨集、名札等の資料との引換証となりますので、登録証は必ずご持参下さい。

### 言語

日本語と英語の同時通訳が行われます。

## ポスターセッションの参加申込みについて

国際会議では講演分野に関連した領域のポスターによる研究発表を募集致します。参加ご希望の方は、下記の要領でお申込み下さい。なお、ポスターセッション発表者・会議参加者は、国際会議の参加登録をして戴きます。登録料は、会員25,000円、一般参加者 30,000円です。学生5,000円。

### 日時

2007年10月31日（水）12：30～14：00

11月1日（木）12：10～13：30

ポスター設置は、10月31日（水）10：00から12：00までをお願いします。

ポスターの撤去は、11月1日（木）15：00～17：00

### 場所

国際連合大学 ウ・タント国際会議場

### 申込み方法

第5回「栄養とエイジング」国際会議ポスターセッション参加申込用紙に必要事項をご記入の上、特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構宛にお送り下さい。

### 申込み締切り

2007年5月31日（木）

### アブストラクト

英文で作成して戴きます。アブストラクトの提出締切りは2007年6月29日（金）です。ご提出戴くアブストラクトは講演要旨集に掲載致します。（申込みされた方には、後日詳しいガイドラインをお送りします。）

### 参加申込み先

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-7 麹町R・Kビル1階

特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構

TEL 03-5215-3535

FAX 03-5215-3537

## 登 録

綴じ込みの第5回「栄養とエイジング」国際会議参加登録用紙に必要事項をご記入の上、下記国際生命科学研究機構へ郵送、ファックス（またはE-mail）でお申し込み下さい。ご郵送くださる場合は、念のためコピーをお手元に残されることをお勧め致します。

登録は、2007年9月末までをお願い致します。当日の登録はできません。

### 登録料（登録には3日間の会議参加費、講演要旨集の費用を含みます。）

事前登録のみにてお願い致します。

会 員 25,000円

一般参加者 30,000円

学 生 5,000円（1日だけの場合、3,000円）

3日目のサテライトシンポジウムのみ参加の方 5,000円（学生は3,000円）を事前振込みにてお願い致します。

### 懇親会費

会議の初日の夜に懇親会（立食）を開催致します。登録料とは別に、1名につき7,000円を申し受けます。

### 参加申込みおよび登録料、懇親会費の振込

綴じ込みの第5回「栄養とエイジング」国際会議参加登録用紙でお申込みと同時に登録料および懇親会費を下記銀行口座にお振込み下さい。お振込みの確認の後、登録証をお送り致します。

なお、一旦お振込み戴いた登録料および懇親会費はお返し致しませんのでその旨ご了承下さい。

### 参加申込み先

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-7 麹町R・Kビル1階

特定非営利活動法人

国際生命科学研究機構（ILSI Japan）

Fax：03-5215-3537

E-mail：aging@ilsijapan.org

### 振込先

みずほ銀行 麹町支店

普通預金 口座番号 1852942

名 義 I L S I コクサイカイギ